

かしま 議会だより

第126号

令和8年5月臨時会号

令和8年6月定例会号

令和8年8月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314
印刷／鹿島印刷株式会社



中木庭ダムあじさいまつり（6月20日・21日開催）

5月臨時会／6月定例会	P2～P3
6月定例会議案審議	P4～P5
全国市議会議長会長表彰	P5
一般質問（13名）	P6～P12
議会運営委員会行政視察報告	P13
新任議員紹介	P13
議会あれこれ／議長交際費	P14



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市公式アカウント
てのひら市役所



いますぐ友だち追加！

定例会

- 2、日程

【6月】

5日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

6日・休会

・議案の一括上程（市長の提案理由説明）

7日・休会

8日・休会（議案研究）

・発言内容通告締切（正午）

9日・休会（議案研究）

10日・休会（議案研究）

11日・議案審議、質疑、討論、採決

12日・休会（議案整理）

13日・休会

14日・休会

15日・休会（議案整理）

16日・休会（議案整理）

17日・一般質問（4名）

18日・一般質問（3名）

19日・一般質問（3名）

20日・休会

21日・休会

22日・一般質問（3名）

・閉会

定例会

- 鹿島市議会

令和8年5月臨時会

会期日程
- 1、会期

令和8年5月19日（第1回）

令和8年5月29日（第2回）
- 2、日程

【5月】

19日・開会

・仮議席の指定

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議席の指定及び変更

・常任委員の選任

・特別委員会委員の選任

・議案の上程（市長の提案理由説明）

・議案審議（質疑、討論、採決）

・閉会
- 29日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定
- ・議案の上程（市長の提案理由説明）
- ・議案審議（質疑、討論、採決）
- ・閉会

鹿島市議会

令和8年6月定例会

会期日程

1、会期

自 令和8年6月5日

至 令和8年6月22日

次のことを審議し決定しました

【令和8年5月臨時会】

		松尾 咲穂	釘尾 勢津子	宮崎 幸宏	笠継 健吾	中村 日出代	池田 廣志	杉原 元博	樋口 作二	中村 一堯	松田 義太	勝屋 弘貞	角田 一美	伊東 茂	福井 正	中村 和典	徳村 博紀	採 決 結 果	
議案第19号	専決処分事項の承認について（鹿島市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第20号	専決処分事項の承認について（鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第21号	専決処分事項の承認について（令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第8号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第22号	鹿島市副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

【令和8年6月定例会】

		松尾 咲穂	釘尾 勢津子	宮崎 幸宏	笠継 健吾	中村 日出代	池田 廣志	杉原 元博	樋口 作二	中村 一堯	松田 義太	勝屋 弘貞	角田 一美	伊東 茂	福井 正	中村 和典	徳村 博紀	採 決 結 果	
議案第23号	令和8年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第24号	浜小学校校舎長寿命化改良事業2期工事（建築主体）の請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第25号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

6月定例会議案審議

報告第2号

令和7年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書について



勝屋 弘貞議員

プレミアム商品券について

質問 現在発売中のプレミアム商品券について。

前回発売の折、多くの電子の商品券が売れ残り苦勞されたと記憶する。今回の販売状況は。

答弁 電子商品券については、5000セット中約4000セット、紙ベースの商品券が2万セット中約1万5700セットの申し込みがされているところ。



プレミアム商品券

残った分の2次募集は7月に受付販売する予定。

報告第3号

令和7年度鹿島市水道事業会計予算繰越計算書について



中村 一堯議員

鹿島、古枝、浜、北鹿島地区で発生した水道水の白い濁りの原因について

質問 6月9日に一部の地区で水道水が白く濁る現象が発生した。今回の久保山排水事業の影響で水道が白く濁ったなどの原因はあるのか。市民が安心安全に水を飲めるように事業を進めて欲しい。

かいていることについてお詫び申し上げます。濁りの原因は、空気が水道水に混入しているためで、久保山浄水場のポンプの不具合だった。今後は修繕して、市民の皆さまが安心して水道水を飲めるようにしていく。

答弁 9日から水道水の濁りが発生しており、市民の皆さまにはご不安を

報告第3号

令和7年度鹿島市水道事業会計予算繰越計算書について



笠継 健吾議員

久保山排水本管更新工事について

質問一 令和7年度久保山排水本管更新工事、予算

算計上の一億三千二百万円は令和8年度に繰越となっているが、どこの部分の更新工事を行うのか。

あるが、国の交付税措置はあるのか。

答弁 久保山配水池からは鹿島市の各区域に排水を行っており、場所は久保山ではなく排水区域へ繋がる配水管である。

質問二 その財源内訳に八千六百万円の企業債が

格予算となっており、今回、防犯カメラ設置事業、保育所給食費等支援事業、情報発信強化事業など補正予算が計上されている。

答弁 国の補正予算、ふるさと納税基金や財政調整基金等を活用して事業を推進したい。

昨今の物価高騰は、市民生活に大きな影響があっており、更なる物価高対策が求められる。今後の補正において、予算の確保が重要になってく

議案第23号

令和8年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



角田 一美議員

維持管理用重機リース事業について

質問一 新規リース事業の対象内容は何か。

答弁 市道の日常管理を区役で実施できない場合は、地元と現地を確認したうえで、重機操作の特別教育を受講した会計年度任用職員が路面や側溝に堆積した土砂等を、リースしたバックホー等で撤去・運搬し市直営で対応する。先端部をアタッチメント式の草刈り

機に替えれば、除草もできる。

質問二 地元要望にどのように対応するのか。

答弁 今年度は、集落間を結ぶ幹線道路のうち、地元の区で対応できていない箇所から優先して実施していく。

議案第23号

令和8年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



伊東 茂議員

情報発信事業について

質問 「シティブロモーション・ブランディング」(影響力を持つ情報発信

者)の協力を得て、鹿島市の魅力発信を期待する。新規事業である。予算は350万円計上されている。近隣自治体も国内・外国人観光客の集客強化を目指し、SNS投稿に力を入れている。アンバサダー(本市の宣伝大使)インフルエンサー

市)の魅力を期待する。市報企画課の新しい取り組みとなる。近隣市町の積極的な展開に負けないSNS投稿で鹿島市の魅力拡大に努めたい。

全国市議会議長会長表彰

去る5月27日に東京都で開催の第102回全国市議会議長会定期総会において、鹿島市議会から3名の議員が表彰を受けました。



写真、左から○勝屋弘貞議員・・・議員15年表彰
○徳村博紀議長・・・評議員感謝状
○角田一美議員・・・議員15年表彰

6月定例会議案審議

一般質問

一般質問に13人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

6月17日、18日、19日、22日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【6月17日①】



釘尾 勢津子 議員
杉原 元博 議員

【6月17日②】



笠継 健吾 議員
福井 正 議員

【6月18日】



樋口 作二 議員
松尾 咲穂 議員
伊東 茂 議員

【6月19日】



池田 廣志 議員
中村 日出代 議員
松田 義太 議員

【6月22日】



中村 和典 議員
宮崎 幸宏 議員
勝屋 弘貞 議員

一般質問



釘尾 勢津子 議員

子ども・子育て支援について

質問一 「子ども・子育て支援金制度」の概要について。

答弁 この制度は、政府のことも未来戦略加速化プランに基づき拡充される子育て施策の安定財源として制度化されたもので、国民健康保険や後期高齢者医療、被用者保険などの医療保険制度に支援金を上乗せする形で全世代から幅広く徴収される形で、令和8年度の保険料等から徴収が始まっている。

質問二 公的医療保険に上乗せ徴収される被保険者の負担増はどの程度か。

答弁 平均月額、被用者保険では約350円、後期高齢者医療では約200円で、鹿島市国保では約230円くらいと推計している。

質問三 公的医療保険に上乗せ徴収される被保険者の負担増はどの程度か。

答弁 平均月額、被用者保険では約350円、後期高齢者医療では約200円で、鹿島市国保では約230円くらいと推計している。

質問一 AI時代における情報モラル教育の概要について。

答弁 現行の学習指導要領において、情報モラルは「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」として確実に身に付けさせることが必要である。

質問二 令和8年度は「かしま愛」の充実期、令和9年度を発展期の実現に向けて「自分がしてほしいと思うことを、他人にしない」という倫理・道徳の基本原則である「ゴールデンルール」を「鹿島の教育」に是非取り入れて頂きたい。

答弁 教育効果を高めるために必要であれば検討し取り入れていきたいと思う。



杉原 元博 議員

市民の健康と病氣予防対策について

質問一 予防医療の推進について。

答弁 予防推進の主な効果は医療・介護費の抑制、地域経済の活性化、地域社会の担い手確保の3点。今後も予防医療の更なる充実に向け、健康寿命の延伸に引き続き取り組む。

質問二 睡眠障害への対応について。

答弁 健康教室等の機会を通じ睡眠に関する啓発に取り組んできた。今後更にこの分野に力点を置き、情報発信や啓発活動を強化する。

質問三 心の病を防ぐための対処法について。

答弁 早く気づき、適切な支援を提供出来れば発症を防ぐことができる。セルフケアは、①睡眠・食事・運動の生活リズムを整える。②趣味や運動など自分に合う居場所を見つけてリラックス状態



笠継 健吾 議員

地球温暖化による猛暑日の増加、くつろぎの場所について

質問一 中木庭ダム周辺の自然環境を活かす考えはどうか。

答弁 本市の自然環境は重要な資源である。中木庭ダム周辺の自然活用も継続的に取り組んでいく。

質問二 開放的な建物の設置について、どう考えるか。

答弁 ダムの眺望を考慮、既存建物の価値を高める必要がある。

質問三 中木庭ダム上流の浅瀬を、簡易な安全対策ができないか。

答弁 ダム上流は遊泳区域ではなく、整備できない。

質問四 県下一番の渓谷があるが、草木の整備ができないか。

答弁 地元地権者との協議、危険箇所等、課題を解決する必要がある。

質問一 飼いのいない猫の保護と管理について

質問二 当事者、近隣者

答弁 より相談事を受けたことがあるか。

答弁 3年間で累計75件の相談を受けた。少しずつ減少している。

質問二 市としての対応は、どのようなことができるか。

答弁 飼いのいない猫への餌やり、猫が集まり近所敷地への糞尿被害もある。職員が出向き指導、区長への相談もしている。令和5年度より、ガバメントクラウドファンディング（寄付）を始めた。ボランティア団体の協力もあり、飼いのいない猫の避妊・去勢手術は年間20匹程度より約5倍の手術が可能である。

子育て支援、放課後児童クラブについて

質問一 放課後児童クラブの受入体制はどうなっているか。

答弁 全部で16クラブ、定員568名、支援員87

一般質問



福井 正議員

鹿島市中心市街地の交通問題について

の考えは。

市道逆川・西牟田線の歩道整備について

質問一 中心市街地の市道は歩道がない地区がある。歩行者、特に子供たちの安全上問題があると思う。歩道整備の考えは。

答弁 新天町交差点から国道207号バイパス間の道路は佐賀県より鹿島市に移管を受け令和7年度より逆川・西牟田線と変更され市道となっている。当該区間は鹿島小学校の通学路には指定されていない状況で通学時は南側の市道を利用している。歩道整備を行うことは事業の優先順位や費用対効果の面から現時点では難しいと考える。

質問二 市道中牟田・御神松線と市道西牟田・新町線が交わる交差点付近の交通安全対策について

答弁 補正予算で市が管理する公共施設への防犯カメラ設置事業を計上し、議会の承認を得た。多くの市民が利用する公園等に防犯カメラを設置することにより犯罪の未然防止や抑止効果を図り、市民の皆さんが安心して施設を利用できる環境づくりを進める。中心市街地での交通安全の確保は重要であると認識しており市全体の設置個所を検討する中で必要性について判断していく。



市道逆川・西牟田線



樋口 作二議員

生き物がつなぐ川と有明海

質問一 人にとって川はどんな存在か。

答弁 かつて川は生活用水への使用など日常生活の延長でコミュニティとも深く結びついていたが、洪水対応の護岸工事の影響などで川との結びつきが疎遠になってきた。

質問二 生き物は鹿島の川でどのように暮らしているのか。

答弁 例えば絶滅危惧種のヤマノカミは、海で産卵し川をさかのぼって暮らす。このような魚たちは、山から海へとつながる生態系を形作る重要な生き物である。また時には食べ物としても喜ばれ、人の生活に潤いを与えている。

質問三 鹿島を流れる川の特徴はなにか。

答弁 鹿島市には二十二の二級河川があり、流れが急で増水しやすい。また有明海の満潮時には排水できず、洪水の危険性が高い。

鹿島を流れる川の可動堰の課題について

質問一 中川にある犬王袋堰や中川堰の魚道は機能していないのではないかと。

答弁 流木や土砂の除去は土地改良区や水利組合が行い、施設の故障などは行政が担当して管理している。

質問二 浜川の河川環境はどうなっているか。

答弁 浜川の河川改修は、治水強化だけではなく、浜地区の特徴を活かした歴史的景観との調和、生物多様性の保全など河川本来の姿に近づける多自然川づくりを行っている。

質問三 浜川上流の奥山頭堰はどのように機能しているのか。



犬王袋堰



松尾 咲穂議員

人口減少に危機感を

子育てと観光の未来について

人口減少への危機感と今後の政策について

質問 「人口戦略会議」の発表で、本市の若年女性人口減少率予測は「45・2%減少」だった。この危機感と過去10年間の対策、2050年に向けた具体的方針は。

答弁 第八次総合計画で少子高齢化対策を最重要課題と位置づけ強い危機感を持っている。子育て支援や雇用創出を着実に実施すると共に、鹿島に住み続けたいと思ってもらえるよう魅力発信も強化していく。

子育て政策の拡充について

質問 本市の子育て支援の現状と近隣市町の0・2歳児を対象にした保育料無償化に伴う流出への

危機感、今後の拡充と展望は。また、子ども1人の誕生は15歳までに約1870万円の地域消費を生み、将来約9700万円の税・社会保障費をもたらす。子育て支援を「未来への地域投資」と捉え、本市独自の負担軽減へ踏み出すべきでは。

答弁 今年度当初の関連予算は39事業で25億6611万8千円。保育環境改善や保育士確保に努めている。本市の保育料は国基準より13・19%程度軽減しているが、所得や年齢差による制限があり、不公平感解消のため制限撤廃を国や県に強く要望し続けていく。また、0・2歳児の保育料を無償化した場合は、7500万円が市の新たな負担増となる。

駅前開発に伴う「まちやど事業」について

質問 宿泊施設数・総客室数の現状と目標値、また「まちやど整備補助金」の対象エリア選定の意図と今後の拡大見通しは。

答弁 市内には16施設、総客室数は155室。客室数の数値目標は定めていない。対象を中心市街地としたのは、肥前鹿島駅を起点にまちなかを歩き、地域の飲食店や買い物、観光を楽しんでいた。大きく、地域全体に経済効果やにぎわいを生み出すためである。対象エリアのあり方も検討していく必要がある。

広域幹線道路の建設促進

質問 有明海沿岸道路（鹿島・福富間）着工式を8月に実施すると報道された。本体道路建設着工まである程度の期間と整備費の確保が必要となる。今後の国・県への戦略的な要望活動について。

答弁 沿線自治体、諫早・太良・鹿島・白石の具体的な課題と解決方法を冊子にして要望を行っている。更に18の団体で組織された「有明海道盛り上げ隊」にも協力頂き、早期完成に向け、要望活動を続ける。

鹿島駅周辺整備に合わせ中心商店街の活性化事業を要望する

質問 鹿島駅前交差点から続く中心商店街は年々、



伊東 茂議員

松尾市政2期目の重要施政方針より

活気が薄れつつある。駅周辺整備事業には「まちなかウォークアップ事業」が含まれている。駅と商店街が連動する再整備を要望する。

答弁 歩いて楽しい街中の基盤整備を進める。整備内容は①駅前広場の整備②鹿島城内線の整備③ポケットパークの再整備④駅前から中心商店街への連続性を考慮したまちなかサインを検討していく。

児童生徒の熱中症対策について

質問 昨年9月議会でも質問した児童生徒への熱中症対策。年々、梅雨明けから真夏日が続き厳しさが増す。今年、学校現場、教育委員会が検討された新たな熱中症対策をお示してもらいたい。



スカイロード入口

一般質問

一般質問



池田 廣志 議員

安心・安全で、みんなが住んで
良かったと思う街づくりについて

猛暑及び
消火設備等の
安全対策について

質問 年々厳しくなる猛暑対策と市内に点在する「消火設備」の可動状況の確認と市道等に表示されている「止まれ」や「横断歩道」の表示が消えているので、その整備と「鯉のぼり」による市役所周辺の環境対策を図るべきと思うが。

答弁 猛暑対策として、7月から9月まで、「クーリングシエルト」を、生涯学習センター「エイブル」と市民交流プラザ「かたらい」に設置する。また、「涼み処」を、鹿島地区は市役所・図書館・サクラスの3カ所、能古見地区は「ふれあい楽習館」、古枝地区は「古枝公民館」北鹿島地区は「北鹿島公民館」

の各1カ所、浜地区は「浜公民館」「アルナ薬局浜町店」の2カ所、七浦地区は「七浦公民館」「干潟展望館」「干潟交流館」の3カ所を設置し、「無料給水機」を設置する。次に、市内の消火設備は、消火栓447基と防火水層145カ所があり、消防団で点検した結果、9カ所で、不具合が確認されたが、5カ所は、点検と調整で、使用可能となり、3カ所は、修繕を行い、残る1カ所の「消火栓」は、地下式消火栓に変更している。その間は、工事が完了するまで、地元消防団と協議し、消火活動に支障がない様に対応する。また、市道等の「止まれ」等の路面標示は、道路交通法に基づき公安委員会（警察）が管理されているので、歩行者等の安全確保

を最優先に、警察と協議し、効果的な対策を図る。また、「鯉のぼり」を利用した河川環境対策については、寄付の呼びかけなどの情報発信の協力やイベントに係る費用への助成など、市として支援が出来ると考えている。

有明海を本来の海況へ
戻す取り組みについて

質問 有明海の潮の流れが弱くなり、佐賀市の沖から有明海の中央方向に流れているとの話があるので、県へ潮流調査の依頼を。

答弁 県では、令和4年の大規模赤潮被害後は、九州大学の協力で潮流調査を続行し、海苔漁期中は、海況や潮流予測が確認できる。



中村 日出代 議員

田澤義舗、甚聖寛連の鹿島駅前
に設置されていた立て看板の撤去について

質問 日本青年団の父と言われた田澤義舗、畠甚名人寛連は鹿島市の誇りであり次世代へ語り継ぐ歴史的資産です。郷土の偉人を積極的に発信する事が求められている。今後の対応は。

答弁 デジタルサイネージの活用を検討している。質の高いアピールを考えている。



田澤義舗看板

鹿島駅周辺地区を中心とした
市街地の活性化について

質問 昨日の質問でまちなかウォーカブル推進事業費が6億1千万円との発言があった。資料では5億5千6百万円と記載されている。1年で5千4百万円増額している。来年は1億円になる。鹿島市の財政は大丈夫か。

答弁 毎年計画は見直される。令和8年度は6億円になった。



田澤義舗の地看板

質問 山口知事が推奨しているスローストリーズムは市民皆さんの理解と協力が不可欠。特徴はゆっくり移動する。質の高い経験を提供する。収益化が難しい。少人数で長時間の体験を行うため利用する店舗の回転率が悪くなり利益が出にくい。公共交通が弱い鹿島市では市内バスの便数が少ない状況にあり移動が不便。一番問題なのが地域住民への負担。訪れた人達の案内をするガイド役。訪れた人達の会話など一部の住民への負担が大きい。対策は。

答弁 商店街、市民の皆さんの主体的積極的な協力が必要。

松田 義太 議員

部活動の地域展開について



質問 今年度より西部中学校の部活動終了時間が17時、東部中学校の終了時間が17時30分となっている。この時間短縮は、生徒、保護者、部活動指導員からの聞き取りやアンケートをとるなど意見集約をして決定されたのか。

答弁 学校内の意見集約については把握していないが、部活動の終了時刻については、学校長の裁量であり、国のガイドラインにおいても平日は2時間、休日は3時間となっている。今回の判断については学校に確認する。

質問 部活動の地域展開については、国のガイドラインにおいて今年度から改革実行期間となり、2031年度までにすべての部活動で休日の地域展開を目指すことが示さ

れている。そのために指導者の確保、活動場所の確保、保護者の費用負担など課題がある。特に指導者については、スポーツ協会、文化連盟等との連携、意見交換など行い体制整備を進めてほしい。

質問 部活動検討委員会において、指摘のあった各団体との連携、講演会の開催など協議していきたい。

投票率向上の
取り組みについて

質問 今回の鹿島市長選の投票率及び各年代の投票行動の分析について。

答弁 投票率55・88%、10代27%、20代32%、30代42%、40代52%、50代60%、60代65%、70代70%、80代57%となり、若年層の投票率の低いことが課題である。

質問 若年層への主権者教育、啓蒙活動は重要であり、例えば投票立会人への高校生の起用など検討できないか。

答弁 高校生の起用については課題があるが、前向きに検討したい。

中村 和典 議員

固定資産税納税通知について



質問 納税通知書・課税明細書の文字が小さく見えずらい様式になっているが。

答弁 全国的に、電算の基幹システムが統一された。また、納期も5月・7月・12月・2月の4期の単税化へ変更となり、大変ご迷惑をおかけしている。

質問 来年度以降も様式の変更はしないのか。

答弁 納税者に寄り添った文字サイズへの変更・改善を国に対して要望していく。

耕作放棄地について

質問 この10年間で、耕作放棄地の状況は、どう変わったのか。

答弁 耕作放棄地面積は、839・8haで農地全体の約3割を占めている。特にミカン園が509・6haで約6割を占めてい

がっている。

所有者不明土地及び
建物の解消について

質問 相続放棄や死亡等により宛先不明な人への対応は。

答弁 公示送達によって対応している。その件数は、土地で73件、家屋で43件ある。

質問 この課税保留分の税額への影響額は。

答弁 土地で約126万円、家屋で約95万円である。

所有者不明土地
の解消の取り組みは。

答弁 相続登記等が義務化されたことに伴い、本年度の納税通知書と一緒に、所有者不明土地相続の案内、司法書士会の紹介のチラシ等を同封して送付した。今後とも広報に力を入れていく。

一般質問

一般質問

【議会運営委員会行政視察報告書】

- 日程 令和8年6月30日～7月2日
- 出席者 委員長 中村一堯
委員 杉原元博、笠継健吾、伊東茂、松田義太
オブザーバー 中村和典 副議長

6月30日

公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構での取り組み

全国の移住相談の動向や自治体との連携事例、関係人口の創出に向けた施策などについて説明を受け、移住希望者のニーズが多様化している現状を理解することができました。また、情報発信の重要性や移住後の生活支援の必要性についても認識を深めました。



7月1日

青梅市議会議員ソーシャルメディア運用ガイドラインについて

議員が情報発信を行う際の基本姿勢や留意事項を明確に定めることで、市民との信頼関係を維持しながら積極的な情報発信を推進している点が印象的でした。また、誤情報の拡散防止や個人情報への配慮、議会の品位を保つためのルールが整理されており、議員一人ひとりが責任を持ってSNSを活用することの重要性を再認識しました。



佐賀県首都圏事務所で企業誘致等について

企業誘致においては、優遇制度だけでなく、交通アクセスや人材確保、自治体によるきめ細かな支援体制が重要であることを学びました。また、首都圏で継続的に企業との接点を持ち、地域の魅力や立地環境を積極的に発信していくことが成果につながると感じました。人口減少や地域経済の活性化が課題となる中、企業誘致は雇用の創出や定住促進にも大きく寄与する重要な施策であり、鹿島市においても地域の強みを活かした企業誘致や、進出企業への継続的な支援のあり方について検討していきます。



7月2日

大田市場 鹿島産の農作物について

全国最大規模の市場において、品質の高さはもちろん、安定した出荷体制や市場ニーズに応じた品目づくりが産地の評価につながることを学びました。また、生産者、市場、流通事業者が連携し、消費者のニーズを的確に捉えながら販路を拡大していくことの重要性を改めて認識しました。農業を取り巻く環境が変化する中、産地ブランドの確立や付加価値の向上、効果的な情報発信が今後ますます重要になると感じました。



新任議員紹介

令和8年4月26日に執行された
鹿島市議会議員補欠選挙において
当選した議員を紹介します。



松尾 咲穂 (28歳)
鹿島市能古見地区在住



宮崎 幸宏 議員

鹿島市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

質問一 保有する公共施設の老朽化や維持管理の推移、そして将来の更新需要に関する公共施設マネジメントの現状と課題について。

答弁 現在保有の132の公共施設は、10年後に全施設の約80%が耐用年数を超過（老朽化）する見込みであるため、人口減少や少子高齢化に対応した計画的な公共施設の更新や集約化、長寿命化等を進め、公共施設の安全性と機能の維持、適正規模・適正配置さらに財政負担の軽減と平準化を実現していく公共施設マネジメントの取り組みが重要と考える。

質問二 公共施設全体の約40%を占める学校施設の更新と少子化に伴う学校の適正規模・適正配置について。

答弁 本年度から小中学校規模適正化等検討委員会を設置し、学校の成り立ちや現状等について情報共有を行うとともに、公共施設等総合計画と学校再編との一体的な検討を全庁プロジェクトとして取り組んでいく。

質問三 今後の公共施設マネジメントの方針について。

答弁 これからの公共施設のあり方については、公共施設の適正な維持管理を推進していくための行財政運営に努め、一方で適正規模・適正配置の考え方を整理し、公共施設マネジメントの方向性について市民、市議会等の関係者との合意形成を図りながら検討、判断していきたい。

鹿島市の地域公共交通

質問一 現行の地域公共交通の課題に対する再編・見直しについて。

答弁 公共交通のリ・デザイン（再構築）を見据え、データを活用した分析結果をもとに持続可能な公共交通を検証し、地域公共交通の効率化を図ることで市民の利便性向上のための交通政策を進めていきたい。

質問二 肥前鹿島駅周辺整備事業における地域公共交通の整備について。

答弁 公共交通の結節点となる肥前鹿島駅をモビリティハブ化にするべく、時刻表や路線情報にデジタルシステム機能を活用したりMaasの導入による二次交通の利便性を強化することを検討している。



勝屋 弘貞 議員

野焼きによる火災について

質問 最近、野焼きによる火災が多い。市民からの苦情もあるのではと思うし、こう度々あつては消防団の負担も増え、怒り心頭と聞く。野焼きは危険な行為だという危機意識の向上啓発を。

答弁 野焼きによる火災が立て続けに発生し、消防関係者に出勤してもらった状況となった。巡回や公式LINE・防災無線等でも火災予防の呼びかけを行い注意喚起をした。火を扱う以上、常に危険性を伴うものと認識を持ってもらうことが重要。農業者に対しては県やJA等の関係機関と連携し、焼却するのではなくすき込むことを推奨している。機会あるごとに周知を行い、野焼きは原則禁止であり、例外的に認められる場合でも風速風向・時

江北駅での乗り継ぎについて

質問 実体験での事。同一ホームでの対面乗り換えではなく、乗り換え時間が3分と短かったために乗り継ぎに失敗した。私のような障がい者や高齢者・妊婦・キャリーバッグなどの大きな荷物を持った人などは間に合わない。改善を求む。

答弁 現在、約8割の便が同一ホーム対面乗り換えで、乗り換え時間6分が3本、3・4・5・7分が各1本の計7本が、跨線橋を利用することになっている。移動に配慮が必要な方にとっては、安全な乗り換えのために適切な時間が必要と理解



JR江北駅

するところであり、誰もが安心して公共交通を利用した外出ができるよう要望をする。市としては全便が対面での乗り換えが最善と考えており、粘り強く交渉を行い利便性の向上に努める。また、「てのひら市役所」に鹿島市独自の時刻表を載せているが、見慣れない人には見辛いと思うので、利用者がわかりやすいように改善したい。

議会あれこれ (令和8年4月～6月)

4月

- 2日 議会だより編集会議
- 5日 旭日小綬章受章祝賀会
鹿島市消防団入退団式
- 9日 小・中学校入学式
- 10日 議会だより編集会議
佐賀県市議会議長会
- 14日 鹿島商工会議所青年部定時総会
- 16日 議会だより編集会議
- 17日 潟開き
- 22日 環境未来都市特別委員協議会
- 23日 九州市議会議長会理事会・定期総会
- 24日 鹿島市老人クラブ連合会評議員総会
- 27日 佐賀地区建設関係合同期成会総会
新任議員当選証書付与式
- 28日 新任議員研修会

5月

- 8日 議会運営委員会
- 9日 第24回 エイブル祭りオープニングセレモニー
- 12日 環境未来都市特別委員会行政視察
市長登庁式・就任式
新任議員研修会
- 14日 全員協議会
- 19日 5月臨時会 開会
全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
地域交通まちづくり特別委員協議会
- 20日 議運代表者会
議会運営委員会
- 22日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会5月臨時会
鹿島市囀託員連絡協議会
- 24日 第71回鹿島市民スポーツフェスタ「運動会の部」
- 25日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
鹿島商工会議所青年部定時総会
佐賀県市議会議長会臨時議長会
- 26日 全国市議会議長会第102回定期総会
- 27日 市議会議員共済会第132回代議員会
- 28日 鹿島市戦没者追悼式
- 29日 全員協議会
5月臨時会
鹿島藤津地区医師会定例総会
- 30日 鹿島市消防団ラッパ部 操法大会結団式
- 31日 第42回鹿島ガタリンピック

6月

- 1日 定期監査報告

- 3日 議運代表者会
議会運営委員会
- 5日 6月定例会 開会 (～6月22日)
鹿島市自衛隊家族会総会
- 8日 鹿島市水防・防災合同会議
鹿島市農業再生協議会総会
- 11日 6月定例会 議案審議
- 12日 鹿島地区交通安全協会定期総会
- 17日 6月定例会 一般質問 (～22日)
- 18日 議会運営委員会
- 19日 議会報告会プロジェクト会議
議会だより編集会議
- 22日 6月定例会 閉会
全員協議会
- 25日 シルバー人材センター定時総会
佐賀県市町村振興協会定時評議員会
- 26日 議会だより編集会議
鹿島市防衛協会定期総会
鹿島市観光協会通常総会
- 29日 鹿島商工会議所通常議員総会
- 30日 議会運営委員会行政視察 (～7月2日)
長崎本線利用促進期成会総会

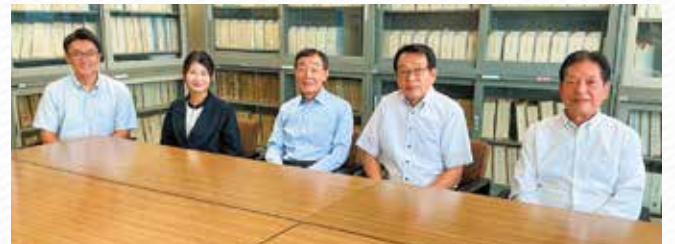
行政視察受入状況(令和8年4月～6月)

行政視察はありませんでした。

議長交際費を公表します。

金額単位：円

	4月		5月		6月		合計	
区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	2	20,000	5	27,000	3	18,000	10	65,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	20,000	5	27,000	3	18,000	10	65,000



今年度の編集委員 (右から中村和典副議長、伊東茂議員、中村日出代議員、松尾咲穂議員、中村一充議員)

編集後記

鹿島市の最上位となる計画「第八次鹿島市総合計画」がスタートしました。次世代に希望を届ける道しるべとなります。

「つながる笑顔のまち、かしま」の実現を目指し議員一同、議会活動に邁進していきます。

議会だより6月号より編集委員を私たちが担当します。議会での審議内容や一般質問、委員会の活動状況など掲載していきます。

表紙の写真は今年の「中木庭ダムあじさい祭り」の風景です。日曜日は天気も回復し、アジサイの前で記念写真を撮られる方や苗木を抱えた笑顔のお客様で賑わいました。

令和8年度 かしま議会だより編集委員会

委員長	伊東 茂
副委員長	松尾 咲穂
委員	中村 一充
委員	中村 日出代
顧問	中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。